

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

2018年度夏季手当要求満額獲得に向け、 東日本ユニオンと共にたたかいをつくりだそう!!

本部は、5月21日に申第14号「2018年度夏季手当に関する申し入れ」を経営側に提出しました。会社は、絶好調とも言える業績を出しています。

先に出された申第13号「エルダー社員基本賃金に関する申し入れ」も含めて、要求満額獲得に向け、たたかいをつくりだそう。

1. 2018年度夏季手当は「基準内賃金の3.2ヶ月分」とし、6月29日までに支払うこと。
2. 55歳以上の社員（2018年6月1日現在）に、一律5万円の加算をすること。
3. グリーンスタッフの精勤手当に、一律5万円の加算をすること。

JR東日本単体 期末累計表（4月1日～3月31日）（単位は億円）

JR東日本は、4月27日に「2017年度期末決算」を発表し、単体決算は増収増益。営業収益・運輸収入は**6期連続の増収で過去最高**。当期純利益も過去最高となりました。連結決算は増収増益。営業収益は**6期連続の増収で過去最高**。経常利

科目	2016年度	2017年度	増益金額	前年比 (%)
営業収益	20,688	20,932	244	101.2
運輸収入	18,162	18,367	204	101.1
営業利益	3,886	3,951	65	101.7
経常利益	3,416	3,589	173	105.1
当期純利益	2,433	2,470	37	101.5

益および親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高になっています。運輸事業では運輸収入が増加により増収増益。流通・サービス事業では東京駅等の店舗の売上が好調により増収増益。不動産・ホテル事業では「JR新宿ミライナタワー」のオフィスフロアへの入居による増収効果やルミネの売上が好調により増収増益。その他では「インド国高速鉄道建設事業詳細計画」による売上や情報処理業の売上が増加により増収減益と発表しています。

中央本部は「**会社は要求に対して十分に支払う能力はある**」ということを団体交渉で再三会社へ突き付けてきました。会社は、2017年期末手当では「営業費用が前年同期比で15億円増加している」とするネガティブな要素や「世の中に突出感を与えないよう留意する」と回答し、2018春闘の回答では「社員の努力には感謝する」とはしたものの「新賃金に対しては、施策実施に伴うコスト増や生産年齢人口減少等の取り巻く経営環境を踏まえた慎重な判断が必要」「決定に際しては、生産性向上の進捗や職責・技能・年齢等の様々な要素を勘案する」と回答しています。少子高齢化を理由に生産年齢人口の減少や今後の利益確保のため春闘や夏季・期末手当の額を抑えている現状です。

またJR東日本の労働環境は、グループ会社への業務委託・エルダー社員制度や乗務員勤務制度の見直しの提案等ここ数年で大きな施策の変化があり、様々な問題点が発生し、改善していかなければならないことが多く存在します。

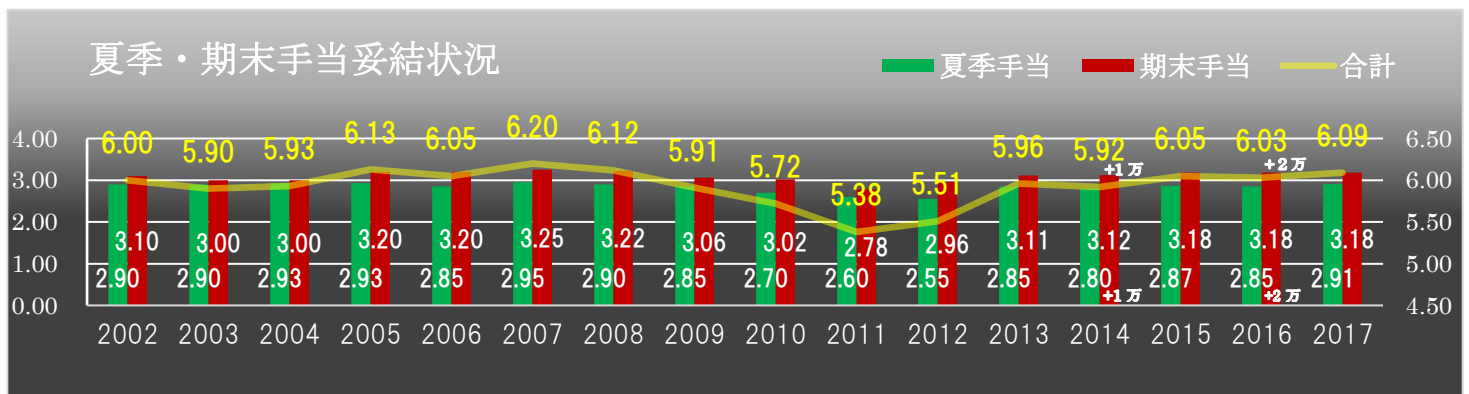
会社と社員という関係では、会社の方が一方的に立場が強いというのが当たり前になります。そのため、ひとりの社員が、雇用・労働条件などについて会社に直談判するには、相当な勇気と覚悟が必要です。

しかし、労働組合であれば、働く人の代表という立場で、雇う側（会社）と対等に話し合える「集团的労使関係」を築くことができます。働く人の意見を、職場に反映させることが可能になるのです。東日本ユニオンでは今「駅・乗務員の制服のデザインについて」「エルダー社員制度について」「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について」「乗務員勤務制度の見直しについて」等、職場を上げて改善に向け取り組んでいます。職場環境をより良くしたいと願う人を支え、仕事にやりがいを、生活に充実感をもたらすことができるのが労働組合となります。



また会社と締結している「労働協約」では、解雇や出向、休職など「就業規則」を超える効力を有しており、会社は「労働協約」で締結したことを守らなければなりません。

東日本ユニオンと会社の間で締結している「労働条件に関する協約」では、**期末手当（夏季手当・年末手当）の基準額は「交渉して決定する」と**定めています。つまり、期末手当の額は労働組合と会社の交渉によって決まります。



過去最高の業績に対して、過去最高の夏季手当を勝ちとるためには**労働組合に力が必要**です。

その力とはJRで働く労働者の結集です。労働組合に未加入・未所属のままでは、一人ひとりが声を出しても改善には繋がりません。だからこそ労働組合に加入・所属することが必要となるのです。

今、各地で続々と東日本ユニオンに結集しています。私たち自身の手で実現させた過去最高の利益を、私たち社員一人ひとりに還元させるため、今こそ東日本ユニオンに結集しよう！



会社の一人勝ちを許さず、エルダー社員の賃金引上げや
2018年度夏季手当要求の満額獲得を勝ち取るため、
東日本ユニオンに結集しよう!!